

炭素材料学会次世代の会・第 53 回炭素材料夏季セミナーサテライトイベント企画

オープンイノベーションと産学連携

～次世代の産学連携の在り方を探る～

(東京都江東区・ホテルルートイン東京)

グローバル化に伴い製品開発速度が加速する中、従来の自社の研究資源を囲い込んだまま独自に商品開発を展開していく“クローズドイノベーション”のやり方では世界的な競争に生き残っていくのが難しくなりつつあります。近年、“オープンイノベーション”と呼ばれる、自社技術だけでなく他企業や大学などが持つ技術やアイデアを広く組み合わせることで、水平分業化によるスピード感のある研究・製品開発が世界的に展開されつつあります。しかしながら、現在のところ日本企業ではこのような取り組みはあまり進んでおらず、ましては大学の研究者にとってはまだ馴染みのない言葉であり、産学双方においてその概念が十分に浸透しているとは言い難い状況です。

そこで、次世代の会では、テクノロジーマネジメント分野の第一人者である古田 健二 先生（東京工業大学 特任教授）をお招きして、その基本的な概念から世界的な進展情勢、またそれに対する産学連携の果たす役割などをご講演頂き、オープンイノベーション型の研究連携を展開していくために必要なことは何かについて産学官の若手研究者が学ぶ機会を設けます。

加えて、日本の炭素材料の産学連携を司る組織である日本学術振興会の第 117 委員会委員長の川口 雅之 先生（大阪電気通信大学 教授）から、その活動内容をご紹介頂くとともに、次世代の若手研究者に期待する産学連携の在り方についてご講演頂きます。

そして最後に、炭素材料の研究開発で世界的な競争で勝ち上がっていくために次世代の研究開発者がやっていくべきことは何かについてのパネルディスカッションを行い、炭素材料の次世代の産学連携をアクティブに進めていくために重要な産学官の研究者間の共通理解と相互認識を深める機会を設けます。

主 催：炭素材料学会 次世代の会

共 催：炭素材料夏季セミナー実行委員会

(第 53 回炭素材料夏季セミナーのサテライトイベントとして開催されます)

日 時：平成 27 年 8 月 11 日 (火) 9:00～10:50

会 場：ホテルルートイン東京東陽町

〒135-0016 東京都江東区東陽 2-3-12

東京メトロ東西線・東陽町駅 (2 番口から徒歩約 5 分)

定 員：80 名程度 (会場大きさに限りがございますので、お早めの参加申し込みをお願い致します。)

参加費：無料※ (※夏季セミナーは別途参加費が必要になります)

■ プログラム

第一部・講演会

9:00～9:50

特別講演 1「オープンイノベーションと産学連携」

演者：古田 健二 先生 (東京工業大学 グローバルリーダー教育院 特任教授)

9:50～10:20

特別講演 2「炭素材料 第 117 委員会が次世代の産学連携に期待すること」

演者：川口 雅之 先生 (大阪電気通信大学 工学部 教授)

第二部・パネルディスカッション

10:20～10:50 次世代の研究開発者として産学連携で進めるべきことは何か？

《主な参加対象者》

産学官の若手研究者※

※8/10～8/11 に開催される第 53 回炭素材料夏季セミナーのサテライトイベントとして開かれます。炭素材料学会員、第 117 委員会関係者、炭素材料夏季セミナーの参加者であれば、どなたでもご参加頂きます。

注：「炭素誌」6月号会告では第二部の参加は博士後期課程の学生以上としておりましたが、修士・学部学生でも自由に参加できるように変更しました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

《参加登録方法》

- ・夏季セミナーの参加登録 Web サイト(<http://www.tanso.org/contents/event/seminar/summer-seminar53.html>)にて、サテライトイベント参加登録も同時に行うことができます。参加は無料です。
- ・サテライトイベントのみ参加の場合は、入澤 (toshihira-irisawa@nuce.nagoya-u.ac.jp) までメールでご連絡をお願いします。なお、夏季セミナー参加者で、Web 登録締め切り後 (7/1) にサテライトイベント参加を改めて希望される場合もメールでのご連絡をお願いします。その場合は夏季セミナー参加予定であることも併記下さい。(締切 7 月 24 日)
- ・参加申し込み多数の場合、抽選等により人数を制限させて頂く可能性もございますので、予めご了承ください。

《特別講演演者紹介》

古田 健二 先生

●略歴

- 1971 年：東京工業大学工学部卒業
- 1973 年：東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了
- 1973 年：株式会社日立製作所入社
- 1980 年：米国スタンフォード大学大学院において Degree of Engineer 取得
- 1985 年：アーサー・D・リトル（ジャパン）株式会社入社
- 1995 年：SRI インターナショナル日本支社入社
- 1996 年：株式会社 SRI コンサルティング初代表取締役就任
- 1999 年：SRI インターナショナル日本支社代表兼任
- 2000 年：株式会社フュージョンアンドイノベーション設立
- 2008 年：東京工業大学・プロダクティブリーダー養成機構 特任教授就任
- 2013 年：東京工業大学・グローバルリーダー教育院／イノベーション人材養成機構 特任教授就任
- 2013 年：TIM コンサルティングを設立、代表就任



●活動内容

開発技術者時代および経営コンサルタント時代を通じ、一貫して「経営と技術の融合」を基本的な活動テーマとし活躍した後、東京工業大学において博士人材の産業界への貢献度向上に向けてのプログラムに従事。東京工業大学において「テクノロジーマネジメント実践論」の講義を担当すると同時に、関西生産性本部、企業研究会などにおいてテクノロジーマネジメントおよび新規事業マネジメントなどに関するマネジメントスクール、研修会などの講師、コーディネーターなどを数多く担当しつつ個別企業に対するアドバイスなどを実施。

最近では東京工業大学において学位取得者の産業界での活躍を支援する活動に取り組み、博士後期課程学生のキャリア教育に注力。

川口 雅之 先生

●略歴

1979年：同志社大学工学部卒業

1984年：京都大学工学研究科博士課程修了（工学博士）

1984年：セントラル硝子(株) 入社 宇部研究所研究員、その後、主任研究員

1994年：同社退社

1994年：大阪電気通信大学工学部講師

その後、助教授を経て、現在：教授および教育開発推進センター長

2005年～2013年：黒鉛化合物研究会会長

2006年～2008年：「炭素」編集委員長

2012年～2013年：炭素材料学会運営委員長

2008年～：学振 第117委員会委員(2009年～2013年 A分科会主査、2014年～ 委員長)



●活動内容

博士号取得後、企業で基礎研究と共に酸化セラミックス素材のパイロットプラントの立ち上げに従事した。大学院、企業での基礎研究で学んだ炭素材料・インターカレーションの知識を基に現在の研究『B/C/N系ヘテロ原子置換型炭素材料の作製と応用』を継続している。1996年～2001年に行われた学振・未来開拓推進プロジェクトに加わり、117委員会で委員外登録された。これまでに企業・大学・研究所等との共同研究、企業からの受託調査研究など、多数実施している。

最近では、学内では教育開発推進センター長を、学外では117委員長を務めながら、多様な学生に対する教育と、産学連携を含めた研究活動を進めている。

★★★ 夏季セミナーと次世代の会サテライト企画の関係★★★

8月10日(午後) 夏季セミナー 第1部 千葉工大ソラマチ 13:00~17:00
8月10日(夜) 夏季セミナー 交流会、宿泊 ホテルルートイン東京東陽町 18:00~
8月11日(午前) 次世代の会サテライト企画 ホテルルートイン東京東陽町 9:00~10:50
8月11日(午後) 夏季セミナー 第2部 千葉工大ソラマチ 13:00~17:00

次世代の会のサテライト企画は、2日にわたって開催される夏季セミナーの間に行われます。会場も異なりますので、お間違えないようお願いいたします。

夏季セミナー出席には参加費が必要です。
次世代のサテライト企画の参加は無料です。

<炭素材料学会 次世代の会・第53回炭素材料夏季セミナー サテライトイベント企画委員>
入澤寿平(代表)・西原洋知・干川康人・加登裕也
<炭素材料学会 次世代の会 幹事>
白石壮志・宮脇 仁・西原洋知・後藤和馬・神成尚克